

課題名：介護テクノロジーの成果普及に関する研究開発

代表機関／代表者：株式会社ビーブリッド／竹下康平

研究期間：令和7年9月～令和10年3月

研究開発目的

- 本研究開発では、介護テクノロジーの開発、普及と導入を促進するための環境整備を行う。前身事業である「ロボット介護機器開発等推進事業」等の成果物を有効活用し、国内外の介護現場・開発企業にとってわかりやすく、使いやすい情報を発信することで、介護現場の課題を解決する介護テクノロジーの普及・導入を促進することを目的とする。

取り組み

- 情報を適切な対象に効果的に届けるため、特に情報伝達すべき層（重点ターゲット）を定め、特徴や求める情報等について分析を行って効果的な発信内容、発信方法等を検討する。
- 情報発信の方法は、WEBサイトの構築、セミナー・イベントの実施、学会等との連携、SNS等である。また、他の事業や業界団体等と相互リンク等の情報連携を積極的に行い、情報がターゲットに届く確率を高める。これに加えて相談窓口を設置し、個別の介護事業所や開発企業等が抱える課題解決の支援を行う。

期待される成果

- 上記情報発信を通じて、介護現場における生産性向上、介護者の負担軽減、高齢者の自立支援と社会参画、および日本の介護テクノロジーが海外市場で広く認知され、優位性が確立されることが期待される。

情報発信サイトのイメージ



情報発信ターゲット分析



(A)前身事業及び本事業の成果普及
(B)日本の介護テクノロジーの海外展開に向けた環境整備